

要保存

風水害・地震等に対する登下校対応マニュアル (H30改訂版)

横浜市立山元小学校 平成30年9月

	状況	対応	キッズクラブ	メール配信等	メール配信未加入の方
登 校 前	ア 朝7時の段階で「暴風警報」「大雪警報」「暴風雪警報」「特別警報」「火山噴火降灰予報」が発表されている。※解説1	市立学校一斉臨時休校 (横浜市学校防災計画による)	第一区分中止 第二区分は「特別警報」以外実施	メール配信なし	電話連絡なし
	イ ア以外的大雨、洪水等の警報、土砂災害警戒情報等が発表されている。	(原則として)通常授業 ○登校が「危険」と判断した場合は、登校を見合わせてください。 ※悪天候のためご家庭で判断して休んだり遅れたりする場合、欠席、遅刻とはなりません、学校へ連絡を入れてください。(電話可)	実施		
	ウ 大規模地震(市域いずれか震度5強以上)発生 帰宅後、登校前の時間帯(放課後、休日、夜間等)に、震度5強以上の地震が発生した。	全市一斉臨時休校(当日及び翌日) ○但し、被害が少ないなど、学校の判断により、授業実施の場合あり。	中止	メール配信なし ○授業実施の場合のみ、メール配信、校門掲示等発信あり。	電話連絡なし ○校門の掲示確認、またはメール配信に加入している方から情報を得てください。
	エ 南海トラフ地震に関する臨時情報 ※解説2	○原則、通常授業。 ○市教委から「全市臨時休校」の指示があれば休校 ○全市臨時休校にならない場合は、原則として集団登校とせず、各ご家庭で登校の安全を判断及び確保し、登校させてください。(可能な保護者の皆様は、付き添いや要所に立つなど、登校の安全確保にご協力ください。)	学校が休校の場合は中止 休校でない場合は実施	メール配信あり ○但し、即時配信は困難です。	
	オ Jアラート(全国瞬時警報システム)で、自然災害以外の警報(テロなど)が神奈川県内に発表されている。	○警報が出ている間、登校を見合わせ、建物内で安全を確保してください。(自宅待機) ○警報解除後、登校 登校時刻についてメール配信しますので、その後、登校を開始してください。(可能な保護者の皆様は、付き添いや要所に立つなど、登校の安全確保にご協力ください。)	実施	メール配信あり ○但し、即時配信は困難です。	
登 校 後	カ 天候が悪化「特別警報」「暴風警報」「大雪警報」「火山噴火降灰予報」山元町区域内に土砂災害に関する「避難勧告」が発令された場合	○通常下校・授業時間繰り上げ・繰り下げ・保護者引き渡し等、学校長が判断し、メールでご連絡いたします。	第一区分中止 第二区分は「特別警報」以外実施	メール配信あり	電話連絡あり ○「状況カ～サ」の場合のみ、お届けいただいた連絡先に、原則として、一回まで連絡します。留守番電話モード等でご確認ください。その他の災害等の状況において、メール配信と同内容の電話連絡は不可能ですので、予めご了承下さい。 ○メール配信に加入している方にお聞きください。
	キ カ以外的大雨洪水等の警報	○通常下校・授業時間繰り上げ・繰り下げ・保護者引き渡し等、学校長が判断し、メールでご連絡いたします。	実施	メール配信あり	
	ク 南海トラフ地震に関する臨時情報 ※解説2	○通常下校・授業時間繰り上げ・繰り下げ・保護者引き渡し等、学校長が判断し、メールでご連絡いたします。	学校が休校の場合は中止 休校でない場合は実施	メール配信あり	
	ケ 大規模地震(市域いずれか震度5強以上)発生	○授業を打ち切り、保護者引き渡し ○発災の翌日も臨時休校	中止	メール配信なし	
	コ Jアラートで神奈川県下に警報等が出された場合	○解除されるまで学校留め置き、保護者引き渡し 解除時は通常下校(ただし、下校時刻を過ぎた場合は原則引き渡しとします。)	中止 (解除時は実施)	メール配信あり	
	サ 近くで凶悪事件の発生など、子どもだけで下校させるのが危険だと学校長が判断した場合	○状況に応じて学校長の判断で授業終了後、教職員が付き添って集団下校。または、保護者引き渡し。	実施	メール配信あり	

※解説1 早朝のメール配信は、職員の被災、停電、メールシステムダウンなどが考えられるため、いたしません。テレビ・ラジオ等により、各ご家庭にてご判断ください。(裏面参照)

※解説2 平成29年11月から、自動的に休校となる「警戒宣言」は出ないことになりました。

※ 保護者以外が引き取りに来る場合は、必ず代理人カードを持って来てください。(カードがない場合は代理人の方にお引渡しできません。)

※ 緊急時にはホームページにも可能な限り情報発信します。

※ 停電、交通機関不通等で保護者の帰宅が困難だと判断される場合、留め置き、引き取りになる場合があります。

＜放課後・登下校時・通学路で地震が発生した場合＞

- ・ブロック塀や自動販売機から離れ、頭部を保護し、安全な場所に身を伏せる。
- ・近くの公園、空き地など安全な場所に避難する。
- ・学校か自宅か近い方に避難する。(家に保護者がいない場合は、学校に避難する。)

[裏面あり]